

## 平成 23 年度 （社）奈良県臨床衛生検査技師会 第 1 回総会議事録

開催日時 : 平成 23 年 5 月 15 日 (日) 13 時 30 分から 14 時 40 分まで  
場 所 : 奈良県立医科大学 厳櫃会館 3 階研修室  
会 員 数 : 538 名 (5 月 15 日現在)  
出 席 者 : 406 名 (当日出席者 83 名、委任状による出席者 323 名)  
欠 席 者 : 132 名

### I 仮議長挨拶

林田事務局長から議長選出が完了するまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

### II 開会の辞

宗川副会長が、平成 22 年度社団法人奈良県臨床衛生検査技師会第 2 回総会を開催する旨、宣告した。

### III 会長挨拶

山本会長から総会出席に対するお礼が述べられた。

本総会では平成 22 年度の奈臨技の事業を報告させていただくが、まず担当県として昨年暮れに開催した近畿医学検査学会が、会員の皆さまの協力により内外ともに充実した良い学会になったことへのお礼が述べられた。また、本学会で生じた余剰金を東北関東大震災の義援金として日臨技と日本赤十字奈良県支部を通じて各 100 万円ずつ寄付したことが報告された。

### IV 来賓の紹介

林田事務局長から本総会に出席頂いた岡本康幸顧問、山中 亨、山名正夫名誉会員の紹介と出席のお礼が述べられた。

### V 来賓挨拶

来賓を代表して岡本康幸先生より昨年の近畿学会が大成功であったこと、また本日の奈良医学検査学会も質の高い良い学会であったとの激励があった。本年度もさらなる成果を上げられるよう期待する旨、挨拶があった。

### VI 議長選出

議長選出に先立ち林田事務局長から本総会の議案書の配布が遅れたことについてのお詫びがあった。

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、仮議長が中本和男（県立奈良病院）、原田 譲（天理よろづ相談所病院）の2氏を提案し、拍手多数にて承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

## VII 議事

### 1. 総会役員を選出

中本議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、事務局から下記の提案があり、過半数を超える拍手多数を持って承認された。

〔議事運営委員（兼資格審査委員）〕

枅尾 茂 （県立三室病院）議事運営委員長、兼資格審査委員長  
栗岡 利里子（県立三室病院）  
松谷 勇人 （天理よろづ相談所病院）  
坂上 幸子 （県立五條病院）

〔書記〕

草尾 恵 （県立三室病院）  
中川 美穂 （天理よろづ相談所病院）

〔議事録署名人〕

吉村 豊 （県立奈良病院）  
福塚 勝弘 （天理医学研究所）

### 2. 総会成立の宣言

枅尾資格審査委員長から、本日の出席者数406名（出席者83名、委任状出席者323名）で正会員数（538名）の過半数を超えているため総会が成立するとの宣言があった。さらに本総会の起案である定款の改定に必要な出席会員数404名を越えているとの報告があった。

### 3. 議案審議

#### 1) 第1号議案：平成22年度事業経過報告について

中本議長から、平成22年度事業経過報告について、一括報告後に承認を求めるとの説明後、下記の担当理事から議案書に基づき説明があった。

審議に先立ち林田事務局長から総会議案書の一部訂正のお願いとお詫びがあった。

#### (1) 総括：山本会長

平成22年度は新役員体制で臨んだため、なれないところもあり、会員の皆様にご迷惑やご無理をお願いすることがありましたが予定の

事業を無事行う事ができ、近畿学会も滞りなく遂行ができ、内外から高い評価を受けたとの報告と、会員の協力に対して感謝が述べられた。

(2) 事務局総務部：林田理事

議案書に基づき要旨が説明された。定款に基づく会議として予算総会、決算総会、さらに通常理事会を開催した。庶務部会では奈臨技ニュース等の会員への配布物を事務局から一括して業者便とメール便を用いての配付で経費削減と公平な情報伝達に心掛けた。奈臨技ホームページではコンテンツの拡充に心掛け、毎日のアクセスが平均 78 件と多くの訪問者があったこと、携帯端末用ホームページを開設したことが報告された。追加事項として、本年度県の立ち入り調査があり事務局の運営・経理状況共に問題なしとの評価であったこと報告があった。

(3) 事務局経理部：後藤理事

議案書に基づき財政の適正化について要旨が説明された。また、新法人制度への対応として、新会計基準に適合するよう会計ソフトの導入等説明があった。追加事項は特になし。

(4) 学術部：梅木理事

議案書に基づき要旨が説明された。追加事項は特になし。

(5) 学術部 学会担当部門：畑中理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項として学会参加人数が会員 1247 名、その他を含め総計 1796 名あったこと、一般演題が技師会より 136 題、他団体より 52 題、企業より 10 題、新企画として教育セミナー 9 題あったこと、記念式典の参加者は知事をはじめ 90 名であり、祝賀会の参加者は 280 名あったこと等報告があった。

(6) 渉外部：上杉理事

議案書に基づき公開講演会の開催について要旨の説明があった。追加事項は特になし。

(7) 地域保険事業部：横山理事

議案書に基づき日臨技の無料職業紹介事業、市民対象の医療や公衆衛生の啓蒙活動、日本糖尿病協会奈良県支部との連携について要旨の説明があった。追加事項は特になし。

(8) 地域保険事業部 公衆衛生部門：藤本理事

議案書に基づき藤本理事より HIV 感染予防啓発事業、乳がん撲滅啓発事業および新たに行った臨床検査ミニ講座について要旨の説明があった。追加事項は特になし。

(9) 組織法規部：延命理事

議案書に基づき会員加入促進、施設代表者会議の開催、新入・一般会

員研修会の開催、公益法人化に向けて定款の改訂などについて要旨の説明があった。追加事項は特になし。

(10) 福利厚生部：田中理事

議案書に基づき技師会活動の傷害及び損害賠償保険の加入、同好会活動の助成について要旨の説明があった。追加事項は特になし。

(11) 広報部：倉本理事

議案書に基づき会誌、ニュースの発行について要旨の説明があった。追加事項として会誌「まほろば」が学会特集号であったため会員名簿は掲載しなかったが、本年6月～7月にかけて各施設に所在確認を行い10月頃に発行すると報告があった。

(12) 地区担当部：柘尾理事

議案書に基づき執行部と会員および会員施設との連絡調整について要旨の説明があった。追加事項特になし。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、中本議長から第1号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

2) 第2号議案：平成22年度決算について

中本議長は、平成22年度決算について、後藤理事に説明を求めた。

平成22年度決算：後藤理事

議案書に基づき決算の説明があった。追加事項特になし。

平成22年度決算について説明を受けたのち、中本議長から第2号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

3) 第3号議案：平成22年度監査報告について。

中本議長は平成22年度監査報告を求めた。

平成21年度監査報告：今井監事

議案書に基づき監査報告があった。追加事項特になし。

以上、中本議長から3号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、中本議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

- 4) 第4号議案：法人制度法改正における新制度への対応について  
原田議長は法人制度法改正における新制度への対応について、説明を求めた。

法人制度法改正における新制度への対応について：延命理事  
議案書に基づき新法人申請時における奈臨技の団体名変更の案および一般社団法人奈良県臨床検査技師会の定款案について要旨の説明があった。

次いで宗川副会長より一般社団法人奈良県臨床検査技師会の定款案について附則2代表理事を会長 山本慶和、業務執行理事を副会長 宗川義嗣、今田周二とするとの説明があった。

以上、原田議長から4号議案について一括して質問、意見を求めたところ質問は無く、決議は最初に新法人申請時における奈臨技の団体名変更の案について挙手にて実施し、出席者全員の賛成で、反対なしをもって承認された旨、宣告した。

次いで一般社団法人奈良県臨床検査技師会の定款案についてよる挙手による決議を行い、出席者全員の賛成で、反対なしをもって承認された旨、宣告した。

- 5) 第5号議案：近畿臨床検査技師会について  
原田議長は新協議会である近畿臨床検査技師会について山本会長に説明を求めた。

山本会長より日臨技が地区を支部化するという方針変更により現在の近畿臨床検査技師会は関西支部となり、これまで開催していた研修会・講習会など学術活動が予算面で制限される。このため近畿地区での大きなネットワークを利用した会員への技術・学術支援事業を継続するため、新たに近畿臨床検査技師会を立ち上げる提案が近畿地区で決議された。当会も参加することは会員にとって大きな利益があるとの説明があった。

原田議長は第5号議案：近畿臨床検査技師会について質問、意見を求めた。

会員より近畿臨床検査技師会における生涯教育の点数の扱いについて質問があった。

山本会長、今田副会長より近畿で行う生涯教育については担当県の活動として今まで通り日臨技の生涯教育の点数となると考えているとの回答があった。

原田議長は追加の質問、意見を求めた。

他の会員より近畿臨床検査技師会の位置づけについて質問があった。

山本会長より、まずは協議会であるが法人化も視野に入れ、現在あり方委員会を設立して検討中であるとの回答であった。

原田議長の許可を得て林田事務局より奈臨技会費の運用を以下のように変更したいとの追加があった。

現在：奈臨技会費 4700 円、近臨技 300 円の会費を別に徴収

今後：奈臨技会費を 5000 円としこの中より一人あたり 300 円を新しい近畿臨床検査技師会協力費として拠出する

原田議長は追加の質問、意見を求めた。

山名名誉会員から、近畿臨床検査技師会は日臨技の方針変更のためできない事を補足するために創るのか、地方分権として行っていく会にするのかどちらか明確にしたほうが良いとの意見があった。

山本会長より、会員の要望を実現するため、日臨技へさらなる要望も上げながら今後検討していきたいとの返答があった。

原田議長は追加の質問、意見を求めたところ新たな質問は無く、原田議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

6) 第6号議案：一般提出議題について

原田議長は、事務局に一般提出議題の提案を求めた。林田事務局長から、総会の議案書の発送が遅れたため、本来総会 10 日前までに事務局に議題を提出することになっているが、昨日までに届いた議題まで有効とし

たが、事務局に届いた一般提出議題はなしと、報告があった。  
原田議長より、会場の出席者に緊急動議の有無を確認するもなく、執行部の追加動議の有無を確認するもなく一般提出議題はなしと宣告した。

最後に山本会長より先日行われた日臨技総会の説明と、山本会長への議決権一任のお礼があった。

その他、質問等なく、原田議長からこれを以って本日の審議事項はすべて終了したことを宣告した。

#### VII 総会役員及び書記の解任

原田議長から総会役員及び書記を解任する旨の通告と、協力への謝辞が述べられた。

#### VIII 議長挨拶

中本議長から議事進行の協力に対して謝意が述べられた後、自らを解任する旨、宣告した。

#### IX 閉会の辞

今田副会長から社団法人奈良県臨床衛生検査技師会平成23年度第1回総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

平成23年5月15日

社団法人 奈良県臨床衛生検査技師会

議 長 中本 和男

議 長 原田 讓

議事録署名人 吉村 豊

議事録署名人 福塚 勝弘